

2 個別事業評価調書

団体名:京丹後市

事業名		パートナーシップのまちづくり事業					
事業の概要		個性豊かな活力あふれるまちづくりを推進するため、自主的かつ主体的に地域の特色を活かしたまちづくりなどを行う地区又は地域住民で組織する団体に対し、支援を行った。 ○市民協働のまちづくり事業 ・地区などが所有している施設の修繕や整備の取り組み ・地区などが行う村おこしや地域づくりの取り組み(環境・景観づくり活動、防犯・防災活動など)					
		事業期間		平成19年度～22年度			
		総事業費	72,000千円	本年度事業費	17,622千円	交付金交付額	7,500千円
事業評価	事業の必要性	住みよい地域社会の実現に向け、積極的な市民参加、市民活動はまちづくりにおいて欠かせないものであり、創意・工夫された取り組みは地域に活気と活力をもたらすことができる。					
	事業の有効性	行政は市民の取り組みを支援し連携していくことによって、市民と行政の良好なパートナーシップが形成される。また、地域を見つめ直し、その特色を活かした地域づくりが行われることで、次代へ継承され、将来にわたる活動が期待される。					
	事業の効率性	地域住民が中心となり取り組みを行うことにより、自分たちの手づくりによる活動意識が芽生え、“市民協働のまちづくり”が推進できる。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		地域づくりには、市民自らが考え積極的にまちづくりに参加することが重要であり、地域づくりに対する意欲や住民の連帯感が高められた。					
		3 リーディング・モデル成果					
4 広域的波及成果							
5 行財政改革に資する成果							
市職員も地域パートナーとして積極的に関わりつつ、市民自らがまちづくり事業を計画・実施することで市民協働が推進できた。							
6 その他の成果							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

2 個別事業評価調書

団体名:京丹後市

事業名		交流のまちづくり事業					
事業の概要		京丹後市総合計画の基幹である"交流のまち"づくりを推進するため、人的交流を通じ地域を活性化し京丹後市の魅力を広くPRし、交流人口の増加を推進した。 ○ふるさと応援団運営事業 - 京丹後市に愛着、興味又は関心を持つ京丹後市出身者や京丹後市への来訪者等により組織される「京丹後ふるさと応援団」の活動を通して、交流人口の増加及び定住の促進を図った。 ・京丹後ふるさと応援大使を委嘱し、京丹後市をPRする割引等特典付き特製名刺を作成 ・年4回、会報誌を発行 ・「京丹後ふるさと応援団交流会」を開催 ○緑のふるさと協力隊事業 - NPO法人地球緑化センターから派遣される「緑のふるさと協力隊員」を受入れ、市民との交流を促進し、地域の魅力の再発見等により地域の活性化を図った。					
		事業期間	平成20年度～22年度				
		総事業費	8,000千円	本年度事業費	3,291千円	交付金交付額	1,300千円
事業評価	事業の必要性	人口の減少、高齢化の進む本市において、定住人口の増加は合併前からの課題である。本市の魅力を広く発信し、定住人口の増加を図るためにも"人と人の交流"が必要である。					
	事業の有効性	本市と京丹後ふるさと応援団員の方々双方向の連携を通じて、活力あるまちづくりの推進が図れた。また、緑のふるさと協力隊員が京丹後市内で暮らし共に地域活動を行うことで地域の活性化が図られ、地域住民が地元の良さを再認識する機会となった。					
	事業の効率性	全国から広く応援団員を募り、協力隊員を地域で受け入れることで、内外から京丹後市の魅力を広め、活性化を図ることができた。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		農山村地域で緑のふるさと協力隊員を受入れ様々な地域活動を住民とともに行うなかで、住民の中に地域づくりの意識が高まり、地域の活性化が図られた。					
		3 リーディング・モデル成果					
4 広域的波及成果							
ふるさと応援大使に特製名刺を配布し、名刺利用による京丹後市の宣伝をお願いした。							
5 行財政改革に資する成果							
6 その他の成果							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

2 個別事業評価調書

団体名:京丹後市

事業名		コミュニティ創生支援事業				
事業の概要		市民活動の主体性を尊重しながら、市民の自主的・自発的な活動がさらに活発になるよう支援を行った。 また、市制5周年を迎え、5年間の歩みを振り返るとともに、さらなる飛躍・発展に向けて、将来を展望していく記念の年と位置づけ、記念式典を開催したほか、平成21年春に開局した「FMたんご」において市政情報や地域情報を提供し、市民の地域づくりや市政への参加を促した。 ○市民力活性化推進プロジェクト事業 市民の潜在能力や市民活動の活性化に貢献する環境保全・地域福祉・産業振興・芸術振興・青少年健全育成・伝統文化伝承などの活動を実施する市民団体やNPO等に対して、実施経費の全部もしくは一部を助成し、その活動を支援した。 ○市制5周年記念式典開催事業 市政の推進に尽力された個人・団体、様々な分野で地道にまちづくりに取組んでおられる方々に対して、その功績をたたえ表彰を行った。当日は市の花と木・市の歌を発表、記念ステージも披露した。 ○京丹後コミュニティFM放送事業 地域に密着・特化した番組を放送する「FMたんご」において、積極的に市政情報を提供した。				
		事業期間	平成21年度～23年度			
		総事業費	39,000千円	本年度事業費	13,509千円	交付金交付額
事業評価	事業の必要性	市民・団体及び行政の適切な役割分担と連携による持続的な発展が図れる。 住民の意見を詳細に収集し、行政側の情報を的確に伝達することが必要であり、市政及び地域情報を提供することにより住民の市政参加を推進することができる。				
	事業の有効性	市民活動団体による社会貢献的まちづくり活動が活性化し、市民力を活かしたまちづくりが行われた。				
	事業の効率性	潜在していた市民力が向上し、地域の活性化や課題解決に向け行政との役割分担が図れた。				
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果				
		2 住民の自治意識を高める成果 市民活動団体による地域貢献的な事業が実施され、市民力の向上につながった。				
		3 リーディング・モデル成果				
		4 広域的波及成果				
5 行財政改革に資する成果						
6 その他の成果						

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。